



ごあいさつ ～ 夏から秋へ ～

校長 山田 和行

季節はあっという間に秋を迎えています。夏のごあいさつができず心苦しく思っていました。がめまぐるしい日々営みに免じてお許しをいただければ幸いです。こうした中、本校にとって最も大切なできごとから報告いたします。

それは、7月30日(土)、平成22年度194名の3年生全員が立派に本校を巣立った卒業式の報告です。

本校は、平成23年3月12日、大震災の翌日が卒業式の予定でした。ところが、式場となっていた体育館は、その直後から使用不能の状態に陥ってしまいました。年度内に卒業式を終えた方が良かったという声もあります。そうだとも思います。それでも敢えて卒業式を延期した理由は、二つあります。一つは、卒業生の本校に寄せる思いを大切にしたいかったこと。二つめは、保護者の皆さんにお子さんの卒業証書授与の姿を見て欲しかったことです。当時、いずれもそのような状況にはなかったからです。

しかし、実際に延期を決めたものの、いつ、どこで、どのように卒業式を実施するか頭を悩ます日々が続きました。そうした時、高砂市民センターの館長さんから思わぬ救いの声をいただきます。会場の目処が立ちました。それからは、具体的に式の案内、進め方、各係の準備等、その日を迎えるために一生懸命に頑張りました。

当日は、厳粛な中にも温かな、笑みと涙のこぼれるすばらしい卒業式となりました。

また、この間、本校三大大行事である「合唱コンクール」「運動会」も成功裡に終えることができました。

まず、合唱コンクールです。会場は、市中心部の電力ホールをお借りしました。例年のように本番前のステージ練習が思う存分できないまま当日を迎えたのでとても心配しましたが、どのクラスもすばらしいハーモニーを会場いっぱい響き渡らせてくれました。

また、運動会は、台風15号の影響で1日順延となった9月24日(土)、秋晴れの爽やかな好天の下行われました。「We can do it.見せよう! 高中の底力!」のテーマを掲げ、元気一杯、競技に演技に、熱い戦い、本気の走りを繰り広げてくれました。

これから、秋本番です。来る10月22日(土)には、「文化祭」を開催いたします。表現活動を通して、震災後の気持ちを整理し、また、保護者、地域の皆さん、たくさんの支援をいただいた全国の皆さんに、感謝の心と元気な姿を伝えるために頑張りたいと思っています。



左：卒業証書授与の様子



右：選手宣誓の様子